

受賞者からのコメント

対象：医学部 2年	
医学部解剖学第二講座	教授 藤宮 峯子
<p>「授業を行うにあたって工夫していること」</p> <p>医学知識の伝達だけなら、教科書やマルチメディア教材で十分である。講義室での学生とのふれ合いは、「教員の全人格をかけた人間教育の場」と考えている。</p> <p>教授は、「生き方の手本を若者に示せるかどうか、自らが目標に向かって努力しているかどうか、純粋に学問を追究しているかどうか」が問われていると思う。</p>	
<p>「学生への要望・アドバイス等」</p> <p>「いのち」の重みを知って欲しい。患者の「こころ」に寄り添える人間になって欲しい。「何のために学ぶのか？」それは、「病に苦しむ人を一人でも多く救うため」。この事を絶対に忘れないで欲しい。</p>	